

# 令和4年度 岩手県立宮古水産高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

宮古水産高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

## 1 現状

- 令和3年度に時間外在校等時間が月45時間超の職員9人、年360時間超11人。  
【参考】令和2年度:45時間超19人、360時間超9人
- 各分掌の担当教職員の配置に限られていることから業務分担に偏りがあり、負担を感じている教職員がいる。
- 日常の生徒指導業務等に手厚く対応することを心掛けていることから、授業準備等の業務時間が不足していると感じている教職員がいる。

## 2 目指す姿

- 教職員一人ひとりが生徒の成長を感じ、やりがいを持ちながら業務に取り組むことができる。
- 教職員一人ひとりが授業準備や教材研究、部活動等に十分に集中でき、自身の研鑽にも意欲的に取り組む時間を確保することができる。
- 管理職は、日頃の教職員の取組に対して適切なアドバイスをするとともに、互いに認め合うことができる風通しのよい職場の雰囲気づくりを行っている。

## 3 取組内容

### ○ 教職員の健康管理

- 業務の効率化や見直しを進め、休暇を取得しやすい職場環境となることを推進します。
- タイムカードによる客観的な勤務時間の把握及び勤務時間の適正管理を継続します。
- 新型コロナウイルス感染症等への対応を十分に行い、安心して勤務することができる職場環境に努めます。
- 盆・年末年始の学校閉庁日を設定します。

### ○ 学校における業務改善の推進

- グループウェアの活用を推進し、情報共有に係る業務量の低減やスケジュールの見える化を実施することにより、業務の効率化を進めます。
- 管理職は、積極的に業務の効率化に向けた提案をしていくとともに、校務運営委員会等において教職員からの意見を募ります。
- 電話応対に係る勤務負担軽減のため、留守番電話の利用を継続します。

### ○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- 教育活動の諸課題について、学科や学年の枠を越えて全職員で協力して解決する体制づくりに努めます。
- スクールカウンセラー等の専門家からの助言により、教育相談等に係る教職員の負担を軽減します。
- コンプライアンスの定期的な取組をとおり、教育公務員としての誇りを持ちながらサービスを遵守します。
- 地域コーディネーターを中心に地域と連携を図り、地域に必要とされる人材の育成を図ります。

## 4 目標

- 月当たりの時間外在校等時間100時間超の教職員数を0人を維持。
- 週1回のNo残業デーや、No残業期間を設定し推進。
- 全教職員が、月1日または年12日以上、年次休暇を取得。
- 「学校の取組に関する教職員アンケート」において、業務改善に関する肯定群項目の増加。

### ～ 令和4年度 本校のコンプライアンス宣言 ～

すべての教職員が能力を最大限に発揮して、誇りと自信をもって教育活動に当たることができる環境整備に努め、生徒・保護者・地域から信頼されるよう取り組みます。



風通しの良い職場

同僚性の高い職場

やりがいのある職場

不祥事のない職場

令和4年5月31日 宮古水産高等学校校長 和田 秀雄

### (参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)

#### 【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

#### 【プランの期間】 令和3年度～令和5年度までの3カ年度

#### 【プランの目標】

##### 目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。

- 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり段階的に縮減する。

時間外 在校等時間	取組期間	
	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度
月45時間超	令和2年度実績の 8割減	ゼロ
年360時間超		

##### 目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。